

住宅のあるべき姿に関する論点

○それぞれの人が望ましいと思う居住環境とはどのようなものか。

ライフステージ等に応じて、立地、周辺の環境や住宅性能などに対して求める条件は様々あると考えられる。

(第1回懇談会を踏まえた議論すべき内容)

- ・住まいの選択肢の充実

○都市と地方の違いを踏まえつつ、どのような住宅を残すべきか。

人口減少や災害危険性の高い区域、空き家の現状なども踏まえつつ、どのような住宅を残すべきかを整理する必要があると考えられる。

(第1回懇談会を踏まえた議論すべき内容)

- ・買い手がつかない、活用されない住宅
- ・残した住宅における利活用の方向性（例えばセーフティネットなど）
- ・残した住宅の評価基準
- ・旧耐震基準で建築された住宅の扱い